

朝刊太郎改を公開



1月1日(仮)



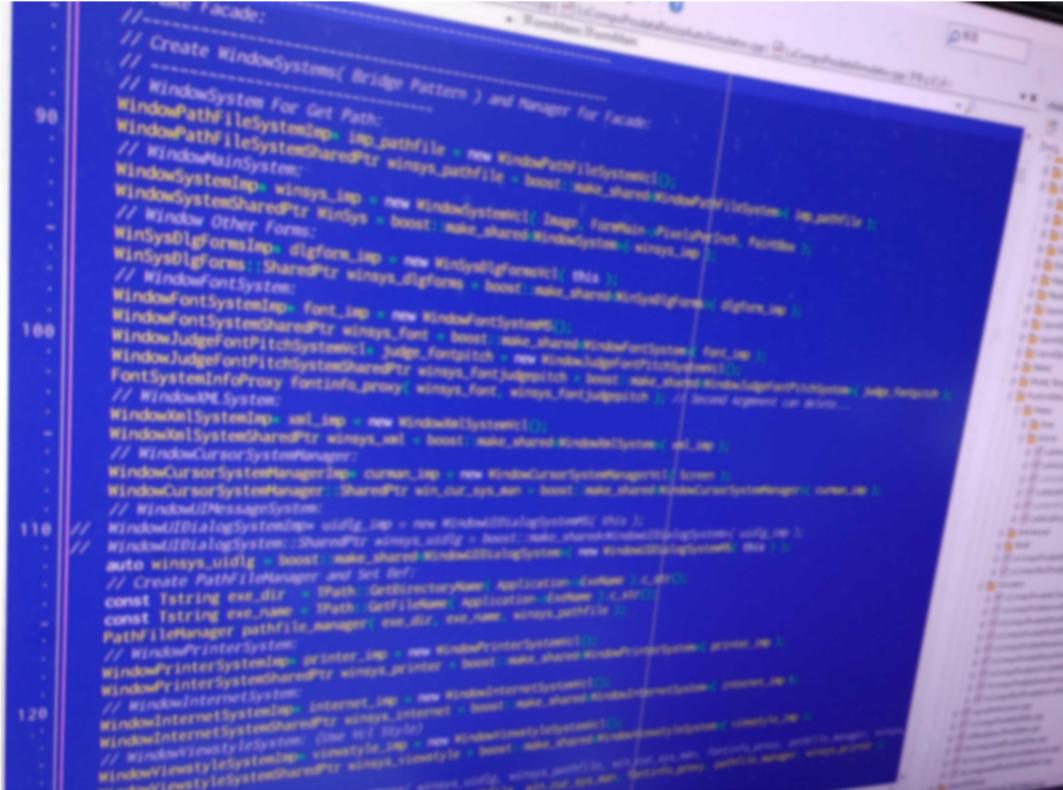
きょうの紙面

- 2 強力な全文検索機能
- 3 ルビや異体字に対応
- 4 「雛形」で素材再利用

新聞編集に特化

18年ぶり正式版

新聞専用のDTPフリーソフト「朝刊太郎改」が正式公開された。記事操作だけでなく見出しや画像など新聞独自の編集が手軽に行える。20世紀末に初公開された旧「朝刊太郎」の後継版。基本操作はおおむね踏襲しつつ、大幅な機能強化が図られている。正式版としては18年ぶりとなる。



「朝刊太郎改」の開発画面(画像はぼかし処理)。ソースコードは計10万行を超える

本格的な「新聞」を作成するための機能を備える。新聞独特の見出しはもちろん、写真の説明文処理、コラムや連載等の箱組も作れる。

記事処理は、新聞独自の禁則処理を実現。ワープロなどの一般的な「ぶら下げ」や文字詰めで無く、常に行末が揃った美しい体裁を可能にしている。

操作に習熟すれば、大手

えてからの編集も出来る。縦組・横組両方に対応。横書きの紙面作成ももちろん可能で、一般的な縦書き紙面の中に横書きの箱組を置くなど変化を付けた編集も可能だ。

学校新聞など定期的に発行するための工夫も満載。

4ページ建てなど複数ページの新聞を1枚の用紙に表裏印刷するマルチ印刷機能、いったん作った紙面や箱組の「型」だけを保存し、何度でも呼び出して再利用できる「雛形」。使えば使うほど、短時間で紙面が作れるようになっていく。

独自の禁則 自動で実現

ワープロなどとは異なる、新聞独自の禁則処理が自動で行われるのも特徴である。

句読点や括弧類など、文

頭・文末には配置できない禁則文字。ワープロのようなカーニングやぶら下げがなく、句読点等の約物を半角分の領域で描画する。半角描画ができない場合は、文字間を均等に空ける。本ソフトでは、これらの処理を、完全に自動で行う。

これにより、文字が基本的に升目に揃い、さらに常に行末の文字が揃う美しい体裁を保つ。

同時に、縦書きの場合、半角連数字を縦組にする、いわゆる「行中縦」も自動的にを行う。

また、自動処理だけでなく、強制的に文字間を空けたり、逆に半角描画分を増やすことも出来る。これにより、記事本文を1文字も変えずに、行数を増やしたり減らしたりすることも可能だ。

置く 流す 畳む 抱え畳み

一般的なワープロやDTPソフトと異なる独特の新聞組版を直感的な簡易操作で行える。

見出しや画像を紙面に配置する「置く」作業。だいたい位置をダブルクリックすれば最も近い素材が紙面端に自動的にくっつく。記事を区切る縦の罫線は、矩形等のだいたい近くをドラッグすれば、やはり密着する。

記事もアバウトな位置指定で、右の素材の隣から流れる。

独特の組版 直感的操作

充実ヘルプ 100%超

作者サイトのオンラインヘルプは総107%。豊富なスクリーンショットで使い方を解説している。紙面例も多数。

操作中にF1キーを押すと、関連するヘルプ一覧が表示され、ブラウザで該当ページを開ける。ヘルプ内の全文検索も出来る。ヘルプ内サイトには操作動画やQ&Aも用意している。

見出し エトキ 箱組

必要機能を網羅

ワープロや汎用DTPソフトでも多段組の新聞形式の文書は作成できるが、見出しや写真説明を適切に作るうとする手間は掛かる。本ソフトでは、こうした新聞独自の素材をあまり手間をかけずに用意する工夫が凝らされている。

文字サイズの異なる複数の文を組み合わせる見出し。全体の大きさを決めれば、あらかじめ文字サイズやバランスを適切に設定し

たパターンを複数提示。選んで、文字を打ち込むだけで「新聞見出し」が完成する。文字扁平や多彩な地紋も設定できる。

写真の上下左右の説明文が付いた、いわゆる「エトキ」も同様だ。エトキ文説明文も、専用画面で位置を選んで文字を打ち込むだけで完成する。文字サイズも記事本文に合わせた適切な大きさが事前設定される(変更可能)。写真の一部だ

開発手帳

20世紀末に旧「朝刊太郎」を公開して四半世紀近く。こんなに長く使用され続けているとは全く想定していなかった。あまりに古いPC環境をベースに作られた旧版で、できるだけ機能や操作性は維持しつつ、今後も使用可能なように全面改良した「朝刊太郎改」が、ようやく完成した。大量の新機能も追加された▼この20年余りでニュースはネットを読む習慣がますます根付いたようだ。けれど、あらゆる情報が並列して更新され続けるニュースサイトと違い、新聞はあ

る時点での情報の重要度と意味をはっきり可視化する。ある種、特殊な表現手段だ▼新聞の編集作業には、情報の価値を見極める判断力と、端的にまとめる日本語力、さらにそれらを効果的に配置するデザイン力が必要。難しいが、知的で楽しい作業でもある。それは、真面目な一般新聞に限らず、学校新聞や地域通信でも共通だろう▼新しい朝刊太郎のソースコードは10万行超。個人開発としてはそろそろ限界かもしれない規模に膨れ上がった。障害報告などユーザの協力にも期待したい。

出来る。

なおこの記事の面隣は箱組だ。

これらの素材はひとつの固まりとして扱えるため、紙面からいったん外して別の位置に再配置したり、紙面上で直接移動するなど、部品感覚でレイアウトできる。



このPDFはCCライセンスで配布され、営利・非営利を問わず自由に利用できます。改変は不可です。

記事本文およびノンプルのフォントはWindows標準のBIZ UD明朝とBIZ UDゴシック。見出し用はオープンソースの源様明朝(Ver1.3)および源真ゴシック等幅を使用しています。